



意見発表する徳永装器
研究所の徳永修一社長

医療産業テーマに

宮崎・大分経済
同友会交流懇談会

宮崎・大分経済同友会交流懇談会が26日、大分市のトキハ会館であり、両団体の会員ら約70人が出席した。「宮崎・大分医療産業クラスターについて」がテーマに定められ、徳永修一社長が意見発表を行った。徳永修一社長は、人工呼吸管理が必要な患者と家族のために自動たん吸引システムを開発した徳永装器研究所（宇佐市）の徳永氏は薬事法などに基づく手続きなどを説明し、「薬事申請コンサルタントなどを充実させ、将来の有望産業として医療分野を育成してほしい」と訴えた。

マ。大分、宮崎両県の産学官が連携し、血液や血管に関する医療産業の集積、人材育成などを目指す「東九州メディカルバレーニュータンク構想」への理解を深めた。